

狩野勝吉先生による難削材加工技術セミナー

「一般材切削の生産性向上への挑戦と

複合材・高硬度鋼・高融点金属等の切削」

(おかやま航空機材料等技術研究会)

昨年より実施しています「狩野勝吉先生による難削材加工技術セミナー」では、難削材として、チタン合金、超耐熱合金を対象としてきました。今回は、既開催セミナーにおけるアンケートで要望の多かった複合材料、高硬度鋼、高融点材料、硬脆性材料などの難削材加工について解説いただきます。

また、多くの企業を指導してこられたご経験の中から、難削材切削技術の高度化、人材育成に必要な経営資源を生み出すための取組みとして、一般材の切削加工の生産性向上について講演いただきます。難削材加工技術に関心をお持ちの多くの皆様の参加をお待ちしています。

◆ **日時** 平成27年 1月22日(木) 9:30~17:00

◆ **会場** テクノサポート岡山 中会議室 (岡山市北区芳賀5301 TEL:086-286-9651)

◆ **プログラム**

1. 「複合材料と非航空機分野の難削材に関する切削技術情報」(講演時間2時間)

複合材料(CFRP, MMC)、金型用鋼と高硬度鋼、高融点金属(純Zr, Mo, Nb, W, Ta等)、鋳鉄系難削材、硬脆性材料等の難削材切削に関する技術情報と上手な削り方について解説する。

2. 「高能率切削、高速切削について」(講演時間4時間)

難削材切削を成功させるには、日常的に加工する一般材部品切削の高能率化と低コスト化を図り、一層の生産性向上と収益改善を実現し、加工現場における難削材切削の基礎研究、人材育成に積極的に投資する余剰資金を生み出す必要がある。

生産性の向上の切り札は、高能率切削技術と高速・超高速切削技術の2つが柱となる。初めに高速切削の技術思想の起源や生産性向上に貢献する副次的メリットを述べ、次いで高能率切削、高速切削を実現した切削データを工具材種、切れ刃形状、切削条件のそれぞれの側面から解説する。そして、生産性の向上にはチップブレーカと切りくずコントロールが重要なことを述べ、生産現場における高能率切削の進め方の具体的事例を紹介する。また、航空機材料等の難削材の加工でも高速切削の可能なことを示す事例を取り上げ、最後に、高速・超高速切削における労働安全とトラブル対策を述べる。

講師 高度職業能力開発促進センター 非常勤講師 狩野勝吉 氏

◆ **主催** 岡山県、(公財)岡山県産業振興財団

◆ **受講料** 無 料

◆ **定員** 40名

◆ **申込方法** 別添の申込書によりFAXでお申し込みいただくか、必要事項をご記入のうえメールでお申し込みください。

◆ **申込先** (公財)岡山県産業振興財団技術支援部 担当:西田、藤木、杉本
〒701-1221 岡山市北区芳賀5301 テクノサポート岡山内
TEL 086-286-9651 FAX 086-286-9676 E-mail: sangaku@optic.or.jp

◆ **申込締切** 平成27年1月15日(木)